

～画像や動画を効果的に組み込みんだシンプルなレイアウトを高く評価～

ポーラ美術館、日本アドバイザーズ協会 Web 広告研究会より 第2回 Web グランプリ 企業グランプリ部門 優秀賞を受賞

ポーラ美術館（神奈川県・箱根）の公式サイトが、インターネット広告やマーケティングに携わる 361 の法人や団体が加盟する公益社団法人日本アドバイザーズ協会 Web 広告研究会（東京都中央区）から、デジタル社会の発展に貢献してきた「人」と「サイト」を表彰する「第2回 Web グランプリ」の企業グランプリ部門において、優秀賞を受賞いたしました。12月4日（木）に授賞式が開催されましたので、ご報告いたします。

「Web グランプリ」は、Web サイトの健全な発展をめざすとともに、「Web 関係者の、Web 関係者による、Web 関係者のための賞」として、優れた功績を残した企業および人物を顕彰し、その労と成果を讃えることを趣旨として実施されるグランプリです。「企業グランプリ部門」は、企業の Web 担当者の研鑽により施策、構築された、“見本とすべき” Web サイトに授与される賞です。第2回目となる今回は、44の企業が参加、58におよぶサイトが候補となり、参加企業およびパートナー企業から選出された計 322 名の審査員による厳正なる審査の結果、受賞に至りました。

当館の公式サイトは、「イメージがよくわかるサイトになっており、情報が適量。動画や画像が大きく、また色使いなどがさわやかで清潔感があり、シンプルでセンスよくまとめられたトーン&マナーでサイト全体が構成されている」点が、高く評価され、優秀賞受賞にいたりしました。



ポーラ美術館 ホームページ

【日本アドバイザーズ協会 Web 広告研究会 評価コメント】

余白をうまく使ったシンプルでモダンなデザイン、大きなビジュアルの使い方によりどのような美術館なのかというイメージがよく伝わり、センスを感じさせるサイトである。コレクション、展覧会など美術館そのものの情報のほか、付帯施設、立地など付加価値も含めた情報のコンテンツが整理され、導線がわかりやすく、得たい情報に到達しやすい。



授賞式の様子

なお、同部門グランプリには日清食品グループサイト（日清食品ホールディングス株式会社）が、同賞には資生堂グループ企業情報サイト（株式会社資生堂）、時ノ技<toki no waza>（セイコーウオッチ株式会社）、日立コーポレートサイト（株式会社日立製作所）が選出されました。

【Web グランプリ とは】

公益社団法人日本アドバイザーズ協会 Web 広告研究会が、デジタル社会の発展に貢献してきた「人」と「サイト」を表彰するために設立したグランプリ。表彰部門は、様々な情報のソースとして重要性が一層高まっている Web サイトの運営を続ける“Web 人（ウェブジン）”を讃える「Web 人部門」と、企業のウェブ担当者の研鑽により制作・構築された、見本とすべき Web サイトに授与される「企業グランプリ」部門の2つからなる。

ホームページ：https://www.wab.ne.jp/wab_sites/general_sites

■企画展「紙片の宇宙 シャガール、マティス、ミロ、ダリの挿絵本」 **開催中**

20世紀絵画において冒険を試みたシャガール、マティス、ミロ、ダリをはじめとする画家たちは、より身近に絵画と向き合える作品として、版画技法による豪華な挿絵本の制作にも取り組んでいます。本展ではポーラ美術館のコレクションの中から、20世紀の巨匠によって制作された、挿絵本の黄金期にきらめく代表作をひもとき、初公開の挿絵を含む51点の挿絵本と、関連する絵画作品をご紹介します。めくるめく、「絵画」と「書物」の出会いをご堪能いただけます。



(左) アンリ・マティス《イカロス》『ジャズ』1947年刊 ポーラ美術館蔵
(右) ジョアン・ミロ『あらゆる試みに』より 1958年刊 ポーラ美術館蔵
© Successió Miró-Adagp, Paris & JASPAR, Tokyo, 2014
D0697

【会期】2014年9月21日(日)～2015年3月29日(日)

※会期中無休 ただし、2015年1月21日(水)は休室

■企画展「セザンヌ—近代絵画の父になるまで」 **2015年4月4日(土) 開幕**

ポール・セザンヌ(1839-1906)は、ブラックやマティスをはじめとする、20世紀の芸術家に多大なる影響を与えた画家として知られています。「セザンヌはわれわれ皆の父親のような存在だった」という言葉を残したのはピカソですが、この時代に新しい表現を生み出した芸術家たちは、独創性の高い表現を達成したセザンヌを、文字通り「父」と見なしていました。本展覧会では、ポーラ美術館が収蔵する肖像画、水浴図、静物画、風景画のセザンヌ作品9点に加え、国内に収蔵されている作品を集めて、セザンヌが「近代絵画の父」になるまでの歩みを、同時代の芸術家たちとの交流や対話を跡づけながら検証していきます。



(左) ポール・セザンヌ《砂糖壺、梨とテーブルクロス》1893-1894年 ポーラ美術館蔵
(右) ポール・セザンヌ《アルルカン》1888-1890年 ポーラ美術館蔵

【会期】2015年4月4日(土)～2015年9月27日(日) ※会期中無休

＜ポーラ美術館について＞

ポーラ美術館のコレクションは、ポーラ創業家二代目であった鈴木常司(1930～2000)が40年以上にわたり収集したものです。日本最大級の印象派のコレクションを中心とした西洋絵画、日本の洋画、日本画、東洋陶磁、古今東西の化粧道具など総数約9,500点を数えます。

「箱根の自然と美術の共生」をコンセプトに、周囲の環境に配慮し、森に溶け込むような設計がされているほか、2013年にオープンした国立公園内という立地を活かした遊歩道では森林浴が楽しめます。

【住所】〒250-0631 神奈川県足柄下郡箱根町仙石原小塚山1285

【電話】0460-84-2111

【開館時間】9:00～17:00 (入館は16:30まで)

【休館日】年中無休(展示替のため臨時休館あり)

【入館料】大人1,800円、シニア割引(65歳以上)1,600円、
大学・高校生1,300円、中・小学生700円

※料金はいずれも個人料金、消費税込み

※中・小学生は土曜日、入館無料

【ホームページ】<http://www.polamuseum.or.jp>



■報道(広報写真・取材等)に関するお問合せ先

ポーラ美術館 広報事務局: 後藤、田中、小椋、三井

TEL 03-3575-9823 / FAX 03-3574-0316 / メール polapr@kyodo-pr.co.jp